

## 2020年度 事業計画書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

我が国の経済は、政府や日銀による経済・金融政策を背景として緩やかな回復基調が続いていたものの、消費増税や天候不良、新型コロナウイルスの影響による消費の減少で、景気が下振れしています。新型コロナウイルスについては、世界保健機関（WHO）が「パンデミック」との認識を示し、各国に対して対策の強化を求めるなど、世界的な先行き不透明感を増長させています。

一方、我が国のスポーツを取り巻く環境は、昨年秋に開催されたラグビーワールドカップが熱狂的な関心を集め、今年の東京オリンピック・パラリンピック（延期決定）、そして2021年の関西ワールドマスターゲームズに至る大型スポーツイベントの開催にも様々な主体が注目をしています。また、健康増進志向の高まりは、政府のスポーツ振興策とも相まって今後も大きな成長が見込まれています。

しかしながら、現在は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、スポーツ大会やイベントの中止や自粛が相次ぎ、暗雲低迷している状況にあります。

当財団は、全ての人々がスポーツを楽しめる共生社会の実現に寄与する事を目的に2017年5月に設立し、第1期～第3期まで助成活動を実施してまいりました。

本来であれば、今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されるビッグイヤーでしたが、前述のとおり、スポーツ領域に限らず将来が見通せない状況下です。こういった時こそ、アスリートや競技団体を下支えする当財団の役割は大きいものと考えます。

つきましては、4期目を迎える2020年度の活動として、下記の3項目を推進していく所存でございます。

1. 公益性の高い助成事業の実施と拡大
2. 認知度アップに向けたプロモーション活動の継続
3. 独立性と継続性に優れた財団運営

また、助成計画は以下のとおりです。

### ◇2020年度助成計画（支給予定：2021年3月）

1. 障がい者スポーツに関する支援事業	17,000千円を計上いたします
2. 次世代を担う人材の育成に関する支援事業	25,000千円を計上いたします
3. 富山県のスポーツ振興に関する支援事業	18,000千円を計上いたします
4. スポーツの学び・体験に関する支援事業	5,000千円を計上いたします

以上